佐賀県保育幼児教育で

第3号 今和7年2月26日

佐賀県保育幼児教育センター(佐賀県こども未来課) 🛣 0952(25)7616

Fax0952(25)7339

hoikuyouchien@pref.saga.lg.jp

幼稚園等 教育課程 佐賀県協議会

レポート

9月→1月

9月に幼児教育施設、小学校、行政等の関係者が一堂に会 しての協議会が開催されました。いろんな立場の皆さんが同 じテーブルで実践発表(筑水こども園、晴田幼稚園)を基に 「幼保小の接続」について和気あいあいと語り合いました。 そのときの実践発表の内容の一部と、今もなお深まっている 連携の取組や発表後の変化についてレポートします。



子どもの健やかな育ちを思い 浮かべながら熱心で真剣な 雰囲気の中でも、笑顔あふれ る協議が進められました。

筑水こども園(みやき町)

《実践発表》 筑水こども園 園田真弓先生 小田真弓先生 小学校の先生 と直接ひざを交 えて語ることで 改善できたこと をご発表!

指導要録 を持参 する時期

4月1日だと新年度の 始まりの日なので、 生たちも新学期の準備 等で忙しそうだった

3月の 最終週

会後

小学校との 交流会

2月では子ども達の 様子が分かりにくい。 早めにすることで園 に尋ねることができる

就学児健康診断 後の||月頃

幼保小 連絡会議

特別支援の園児を中 心に話してしまうこと が多かったので個々 の育ちを共有したい

校区内の周すべて 一緒に開催し現在 の年長の様子や園 の様子を把握する

令和6年度幼稚園等教育課程佐賀県協議会筑水こども園発表資料より

IOの姿を手がかりにした保育エピソードのまとめ

"10の姿"でエピソ ードをまとめたことで、 こどものよさや育ちを 小学校に伝えやすか ったそうです!



数量や図形、標識や文字 などへの関心・感覚

おばけやしきに入れる人数を 数えたり、何をいくつ配置す るかを考えていた

自然との関わり・ 生命尊重

●保育エピソード●

~すみれ組の卒園に至るまでの姿~

・かみなりが鳴った時の驚きをおば けやしきの雰囲気づくりなどに生か す。(暗くする、音を鳴らすなど)

思考力の芽生え

どんなおばけがいるのかな?と遊びの 中で試したり、考えたりしていた。 ・どんな素材が作りたい物に合っている か考える力がつく

言葉による伝え合い

- 「おばけやしきをしよう!!」
- と声を掛け合い活動をスタートした ・どうしたら怖くなるか話し合う

豊かな感性と表現

健康な心と体

お化け屋敷では安全に気を付けた。 スづくり、手を引く係、受付け

自ら健康に気を付ける 園に元気に登園するために見通し

- ・おばけの絵本と出会う。 ・雷を見て自由遊びでおばけの衣装 を作り出す

場所など

自立心

- あきらめずに制作
- したり、取り組んだ りしている

子ども達は、経験を通して大きく成長して

- 協同性
- ・一緒にやろう! ・一緒に作ろう! ・一緒にするって楽しい
- おばけやしきにつながった

- 社会生活との関わり ・おばけの絵本と出会う・何度も読んでと興味を持つ(おばけ関連の絵本コーナーを設置する・他のクラスへ招待状やチケットを配る
- - 道徳性・規範意識の

芽生え

- ・ 及達のことを思いても気持ち ・ ルールを作ったり、守ったりして遊ぶ ・ 気持ちに折り合いをつけ自分な りの参加の仕方を工夫する
- 令和6年度幼稚園等教育課程佐賀県協議会筑水こども園発表資料より

《参会者の声》

- ○日々の保育を「10の姿」でふりかえることで、より子どもの理解が深まり、それが小学校へつなぐ架け橋 になるんだなと筑水こども園の発表を聞いて改めて学ばせていただいた。
- ○実践発表では、「卒園までに育てるのではなく小学校以降に花が開くように」という言葉が印象的でした。

発表を

深まる実践

(12月)

終えて

- ○幼保小で話し合える風土ができたので、お互いにできることをやろうと思っています。 (例えば、入学後の登下校が心配という話を聞いたので、安全面に配慮した登園練習につい て、園だよりでお知らせするなど)
- ○町内の3園の先生達と話し合い、小学校入学前に、何度か交流会(ドッチボール大会など) を開催して、子どもたちが顔を合わせる機会を作ろうと計画中。小学校に入学したときに、 知っている子がいることで、安心して人間関係を築けるのではと思っています。

晴田幼稚園(小城市)

《実践発表》 小城市立 晴田幼稚園 今村亜樹先生 末廣彩夏先生

<R5 2学期のテーマ>秋を知ろう!感じよう!楽しんじゃおう!

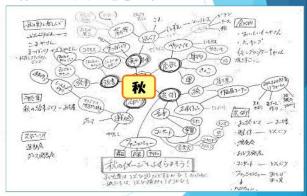
…様々な「○○の秋」を楽しむ

ウェビング図の作成

「秋」という言葉を中心に、【スポーツ・芸術・食欲・読書・実り】か ら連想できる言葉をあげていき 、関連性のあるものを線で繋げ ていく

運動会や発表会などの行事も 多い学期なので、遊びの延長で 練習に取り組んでいけるように 考えていく。

子ども達がどんなことに 目を向けるかな?



右表は小学校との 話し合いでの資料 です。参会の先生 方からも参考にな ると好評でしたよ!



	令和6年度幼稚園等教育課程佐賀県協議会晴田幼稚園発表資料よ										
晴田幼稚園 がめざす 子ども像	①健康な心と体	(2) 自立心	(3)協同性	(4)道徳性・規範意識の芽生え	(5)社会生活との関わり	(6)思考力の芽生え	(7)自然との関わり・生命尊重	8数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	(9)言葉による伝え合い	(10)豊かな感性と表現	<mark>晴田小学校</mark> がめざす 子ども像
明るく元気な子ども	0	0			0				0	0	健康や安全に気を付け、元気に 活動できる子ども
様々な人とかかわって遊べる子 ども		0	0	0	0	0	0		0	0	ふるさと晴田で生き生きと活動 する子ども
豊かな心をもつ子ども	0		0	0			0		0	0	いのちあるものを大切にし、思 いやりのある子ども
自分で考え、つくり出す子ども		0				0		0	0	0	進んで学び、基礎基本や活用 カを身につけた子ども

令和6年度幼稚園等教育課程佐賀県協議会晴田幼稚園発表資料より

《参会者の声》

- ○晴田幼稚園の実践を聞いて、ウェビング図が保育の見通しを立てる時にとてもいいなと思った ので取り入れたいです。
- ○目指す子ども像と育ってほしい姿を互いに整理されている資料はとても参考になった。

発表を 終えて 深まる実践 (1月)

晴田幼稚園のこどもたちと晴田小学校5年生の交流 会の様子です。こどもだけでなく先生たちもとても仲 良しで一緒に楽しんでいらっしゃったのが印象的!



幼稚園児のエアーバンド。音楽に合わせこどもも先生も大盛り上 がり。5 年生のダンスもとっても上手で園児もくぎ付けでした。



園児が作った連凧(れんだこ)が空高く舞いました。5年 生の力強い姿に園児もあこがれを感じたようです。



《編集後記》

- ・ご協力いただいた2園の先生方には深くお礼を申し上げます。ありがとうございました。
- ・今後とも、架け橋期の教育の充実を図っていらっしゃる取組についてレポートしていきたいと思います。